

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2021年 8月 9日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地	三菱電機株式会社 京都製作所 所長 中嶋 博樹

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	三菱電機株式会社 環境マニュアル (ISO14001:2015・JISQ14001:2015)
適 用 範 囲	三菱電機株式会社
導 入 年 月 日	2018年3月14日 (三菱電機株式の全事業所を統合した環境マネジメントシステムで更新認証)
認 証 番 号	登録番号：EC98J2017
基 本 方 針	1. 組織の活動・製品及びサービスが環境に与える影響を把握し環境活動の継続的な改善と汚染防止に努める。 2. 法令・協定及び事業所が同意するその他の要求事項を順守する。 3. 地域住民・関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域の環境保護及び地域社会との調和と貢献に努める。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2020年度環境マネジメントプログラム目標値 1. 生産時CO2排出量の削減：25t-CO2/2020年度（理論排出削減量） 2. 製品使用時のCO2削減。（製品機種毎に削減目標を設定） 3. 製品の資源投入量の削減。（製品機種毎にプラスチック・金属材料の削減目標を設定） 4. ゼロエミッション率：0.1%未満（総排出量当たりの直接埋立廃棄物の削減） 5. 廃棄処分量：100 t /2019年度以下。
目標を達成するための取組の内容	1. 生産時CO2排出量の削減：最新高効率機器（エアコン、LED照明）への更新・生産性効率向上及び省エネパトロール等の啓蒙にて省エネを図る。 2. 製品使用時のCO2削減：省電力回路の水平展開による省エネ設計、DeepSleepモードを搭載機種拡大し待機電力削減、パソコン製品は電力交換率の向上を図る。 3. 製品の資源投入量の削減：主要部材（プラスチック、金属部材）の軽量、肉厚の薄型化等コンパクト設計・筐体の形状最適化により軽量化。 4. ゼロエミッション率：埋立廃棄物の排出削減。 5. 廃棄処分量：分別の徹底と再資源化処理の実施。
目標を達成するための取組の進捗状況	2020年度目標に対する進捗 1. 生産時CO2排出量の削減：41t-CO2/2020年度（理論排出削減量） 2. 製品使用時のCO2削減：対象製品機種で全て目標を達成。 3. 製品の資源投入量の削減：対象製品機種でプラスチック・金属材料の削減目標を達成。 4. ゼロエミッション率：0%（総排出量当たりの直接埋立廃棄物の削減） 5. 廃棄処分量：85.7 t /年
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2020年度環境マネジメントプログラムで策定した、目標値は全て達成できた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	2020年度に計画した順守評価項目に基づき、四半期毎に「順守状況を確認・報告」を実施。2020年度実績は、行政報告・届出は遅滞なく実施済み。行政より指摘・指導はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステム・環境パフォーマンスの見直しとレビューを毎年、年度末に実施し、次年度の指示を行う。（以下、2021年度へ向けての指示内容） ①技術開発部門の構造改革に伴う再配置による環境関連施設の移動等は移動後の管理状況を確認すること。 ②2021年度は大きな構造改革により部門環境推進者の変更があっても環境管理のレベル低下が無きようにすること。また、業務の効率化を進めること。 ③京都地区内部監査は監査の有効性を維持しつつ効率化を検討すること。 ④製品関連の開発完了機種に関係する規制は引き続き漏れ無きようフォローすること。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。